

日本のトップ製薬企業を目指して - 2009年総括と2010年計画 -

中外製薬株式会社
代表取締役社長 兼 CEO
永山 治

2010.2.3/4

将来見通し

本プレゼンテーションには、中外製薬の事業及び展望に関する将来見通しが含まれていますが、いずれも、既存の情報や様々な動向についての中外製薬による現時点での分析を反映しています。

実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により現在の見通しと異なることもあります。

2009年度決算

成長ドライバーの順調な伸長により、過去最高の業績を実現

(億円)	2005	2008	2009	前同比
売上高	3,272	3,269	4,289	31.2%
タミフルを除く製商品売上高	2,920	3,134	3,429	9.4%
営業利益	792	516	826	60.1%
売上比	24.2%	15.8%	19.3%	
純利益	536	393	566	44.0%
売上比	16.4%	12.0%	13.2%	

2009年度の総括

- タミフルを除く製商品売上高：9.4%増
- RoActemraの欧州販売開始
- アバスチンの肺がん適応拡大承認
- 5プロジェクトの承認申請完遂
- 4プロジェクトのP1開始



成長ドライバーのさらなる成長と、
次なる成長基盤の着実な構築

2009年の各機能における取り組み

研究開発

☆研究開発の基盤強化

- ・ 創薬研究技術の強化
- ・ 新領域での開発進捗（糖尿病領域、中枢神経系領域等）

⇒臨床開発の充実

9件の国際共同治験を実施中
新たに4プロジェクトがP1入り

生産

☆開発・生産体制の再構築

- ・ 製薬本部の新設

⇒グローバル競争力の向上を目的とした開発～生産の一貫体制
（コスト、スピード、品質）

営業

☆営業体制の専門性強化

- ・ プライマリーユニットを新設、オンコロジーユニットとの2ユニット体制へ
- ・ がん専門MR数の増強（500→550人）

⇒各領域における製品政策実行力を強化

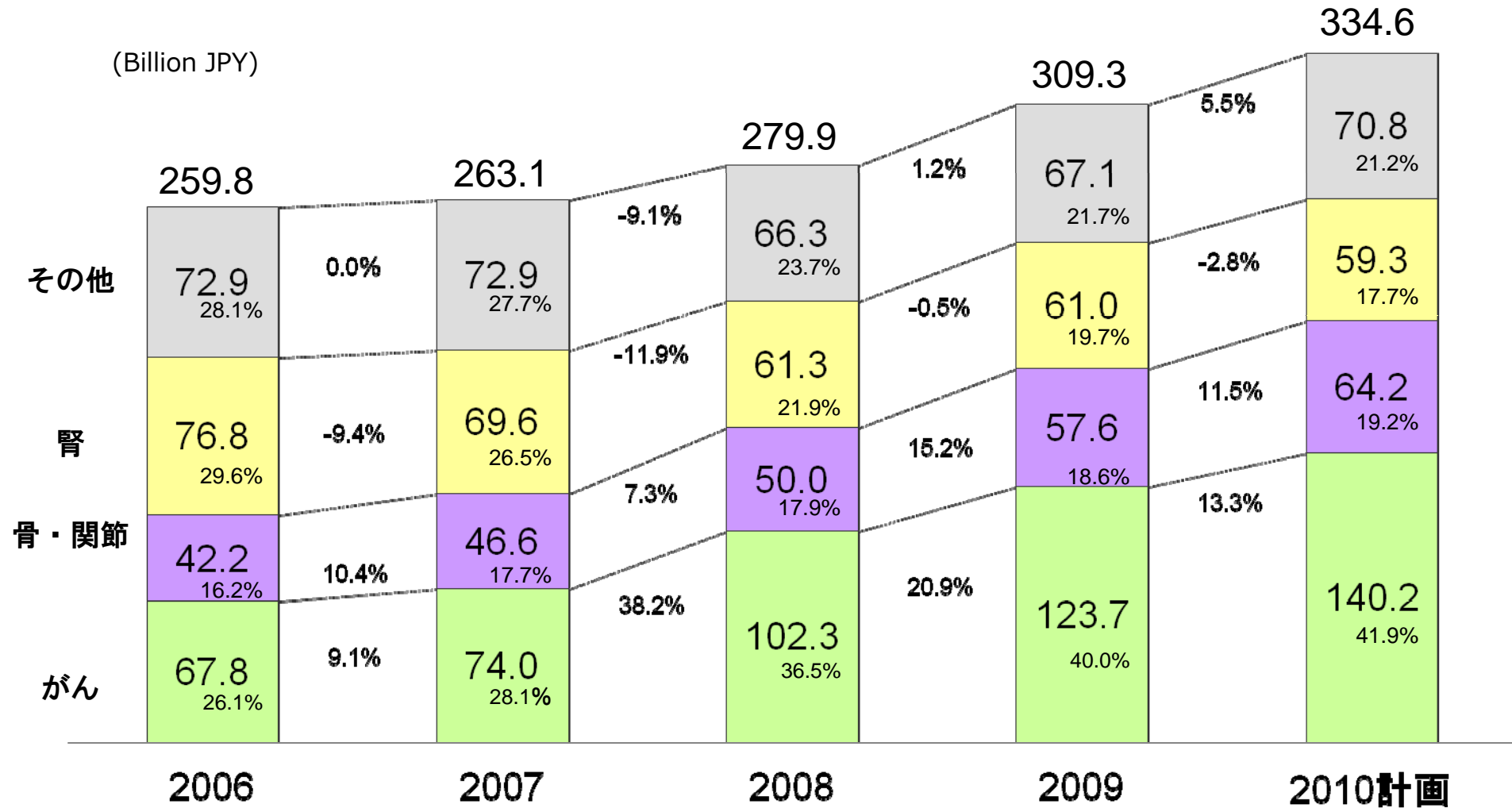
安全性

☆安全性管理体制の強化

- ・ 信頼性保証本部を再編、信頼性保証ユニット、医薬安全性本部を新設
- ⇒安全性情報の医学的評価を充実させ、医薬品育成における安全性機能を強化

各機能の実行力向上

タミフルを除く領域別国内売上



2010年度通期計画

トップ製薬企業に向けた大きなチャレンジの年

2010年代後半

トップ製薬企業

2010

売上高：4,185億円
営業利益：700億円

2012

Sunrise 2012
売上高：4,600億円
営業利益：800億円

営業におけるチャレンジ

がん

領域No.1企業としての治療への貢献
標準治療薬としての地位確立

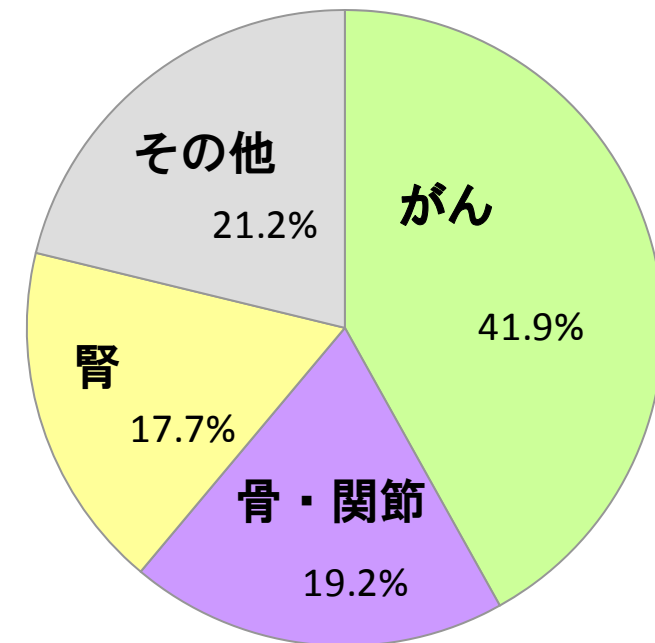
骨・関節

アクテムラ：生物学的製剤の第一選択薬
としての地位確立

腎

領域No.1企業としての専門性の発揮
臨床現場のニーズへの深い理解に基づく
治療への貢献

領域別2010年国内売上計画



R&Dにおけるチャレンジ

- 4製品（2プロジェクト）の適応拡大申請
- 新規領域（糖尿病・中枢神経系）での開発加速
- 探索研究の強化
 - 未来創薬研究所を中心とした研究ネットワーク強化
- 早期開発パイプラインのさらなる充実
 - 2つのソースからバランスよく開発パイプラインへ
 - 09年末にロシュより複数の早期開発品目導入

Pre-PoC プロジェクト

新規 継続

自社品 導入品

TP300
RG1273(pertuzumab)

2006

CSG452
NA808
TP300
RG1583(taspoglutide)
RG1678(GLYT1)
RG1273(pertuzumab)

2007

GC33
CIF
CKI27
CSG452
NA808
TP300
RG1579(DPPIV)
GA101(RG7159)
RG1507(IGF-1R)
RG1583(taspoglutide)
RG1678(GLYT1)
RG1273(pertuzumab)

2008

MRA
GC33
CIF
CKI27
CSG452
NA808
TP300
RG3502(T-DM1)
RG1450(Abeta)
NTZ
GA101(RG7159)
RG1583(taspoglutide)
RG1678(GLYT1)

2009

アクテムラのさらなる成長に向けて

■ 海外展開：世界25カ国以上で発売済み

□ 米国での発売

- 1月8日承認、18日の週に発売

□ 欧州主要国での拡大

- 独：期待を上回る浸透（TNF効果不十分例でシェア10%以上）
- 英、仏、西その他主要国で発売

■ 臨床開発：

膵がん	sJIA	皮下注
P1/2, 国内	P3, 海外	P1/2, 国内

2009年12月期 連結決算概要

中外製薬株式会社
取締役専務執行役員 兼 CFO
児玉 龍三

2010.2.3/4

2009年12月期(通期) 連結決算概要

■ 前年同期比で大幅な増収増益決算

- 売上高 31.2%増、タミフルを除く製商品売上高9.4%増
 - ・ 国内販売好調。がん領域は20.9%増、トップシェア*を維持
 - ・ 海外製商品売上高は円高等の影響の中、前年同水準の実績
- 営業利益 60.1%増、経常利益 57.8%増
当期純利益 44.0%増
 - ・ 増収により売上総利益は18.1%増
 - ・ 販管費は3.5%増
- 売上高、タミフルを除く製商品売上高、営業利益、経常利益、当期純利益はいずれも過去最高

* 市場の範囲は弊社定義による
シェアの計算はIMSデータに基づく

Copyright IMS Japan KK.2010

2009年12月YTD

無断転載禁止

損益の概要 1-12月実績

【億円】	2008年 1-12月	売上 (%)	2009年 1-12月	売上 (%)	増減	%
売上高	3,269		4,289		+1,020	+31.2
製商品売上高	3,218		4,191		+973	+30.2
タミフルを除く	3,134		3,429		+295	+9.4
タミフル	84		762		+678	(x 9.1)
その他の営業収入	51		98		+47	+92.2
営業利益	516	15.8	826	19.3	+310	+60.1
営業外収益	99		94		▲5	▲5.1
営業外費用	42		16		▲26	▲61.9
経常利益	573	17.5	904	21.1	+331	+57.8
特別利益	73		3		▲70	▲95.9
特別損失	14		13		▲1	▲7.1
当期純利益	393	12.0	566	13.2	+173	+44.0

- 製商品売上高(タミフルを除く) +295億円
- タミフル* +678億円
- その他の営業収入 +47億円
マイルストーン収入
コプロモーション収入
- 営業利益 +310億円
- 営業外収支の増加 +21億円
- 特別損益の減少 ▲68億円
アクテムラ共同開発精算金
(2008年4月)

期中平均レート(円)

	2008年1-12月	2009年1-12月
CHF	95.54	86.20
EUR	151.38	130.10

* タミフル 内訳

	2008年1-12月	2009年1-12月	増減
通常	71億円	362億円	+291億円
行政備蓄等	13億円	400億円	+387億円

前年同期比

2009年12月期 連結決算概要



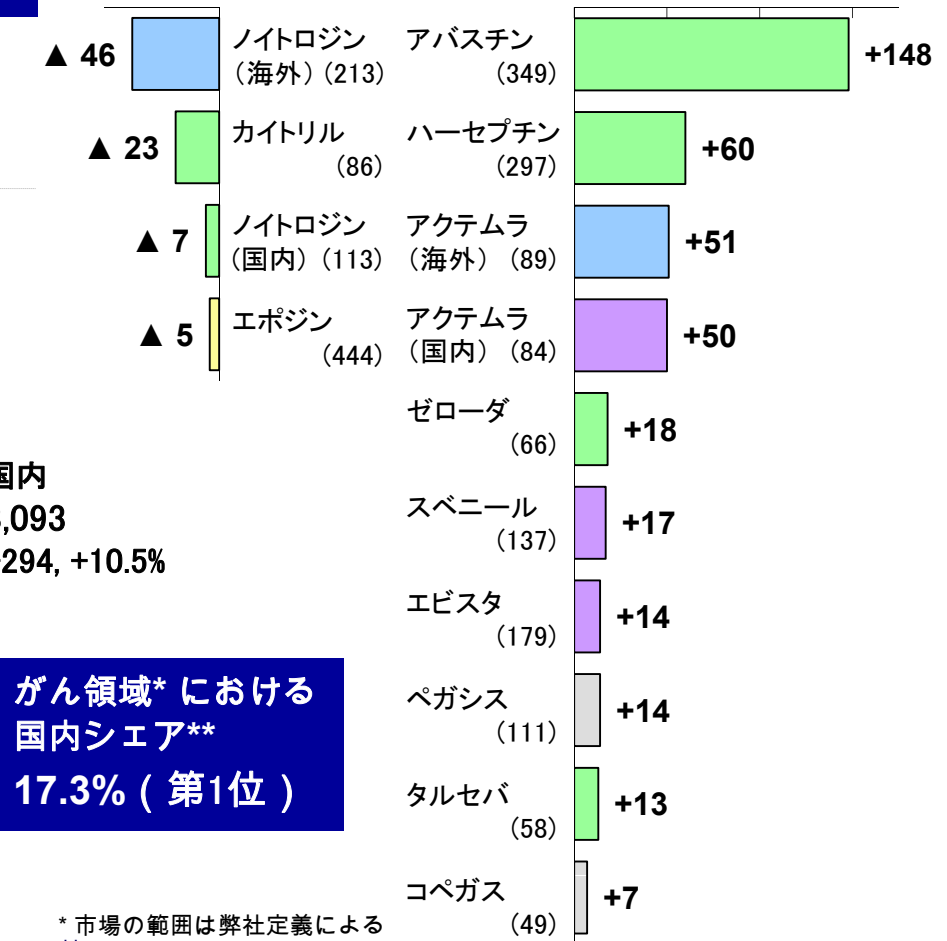
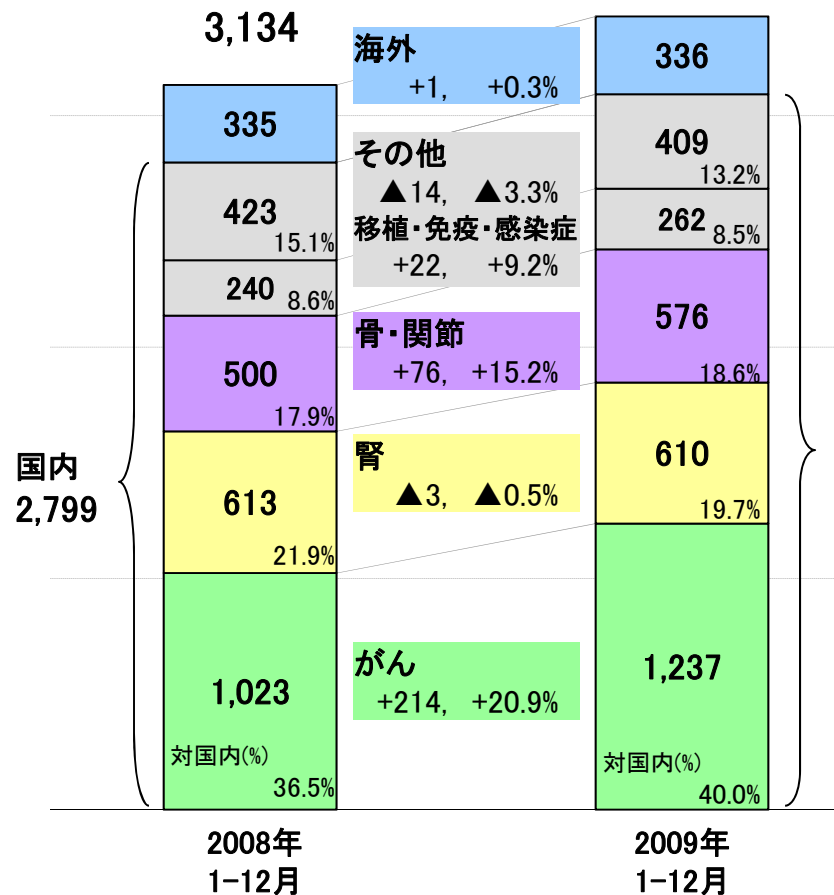
製商品売上高(タミフルを除く)の増減内訳 1-12月実績

【億円】

製商品売上高(タミフルを除く)
3,429億円 +295, +9.4%

左図: 領域別

右図: 個別製品(前年同期比、()内は2009年実績)



がん領域* における
国内シェア**
17.3% (第1位)

* 市場の範囲は弊社定義による
** Copyright IMS Japan KK, 2010
出典: IMS JPM 2009年12月YTD
無断転載禁止

タミフルの売上状況

【億円】		決算期売上												シーズン 売上	定 点 観 測 数 (百万人)*
		2005年12月期		2006年12月期		2007年12月期		2008年12月期		2009年12月期		2010年12月期			
		1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月		
通 常	2004/2005	232												246	1.47
	2005/2006		119	99										218	0.92
	2006/2007				37	50								87	1.01
	2007/2008						52	14						66	0.66
	2008/2009								57	110				167	1.27
	2009/2010										252	55		307	
	2010/2011												150		
通常		351 (+265)		136 (-215)		102 (-34)		71 (-31)		362 (+291)		205 (-157)			

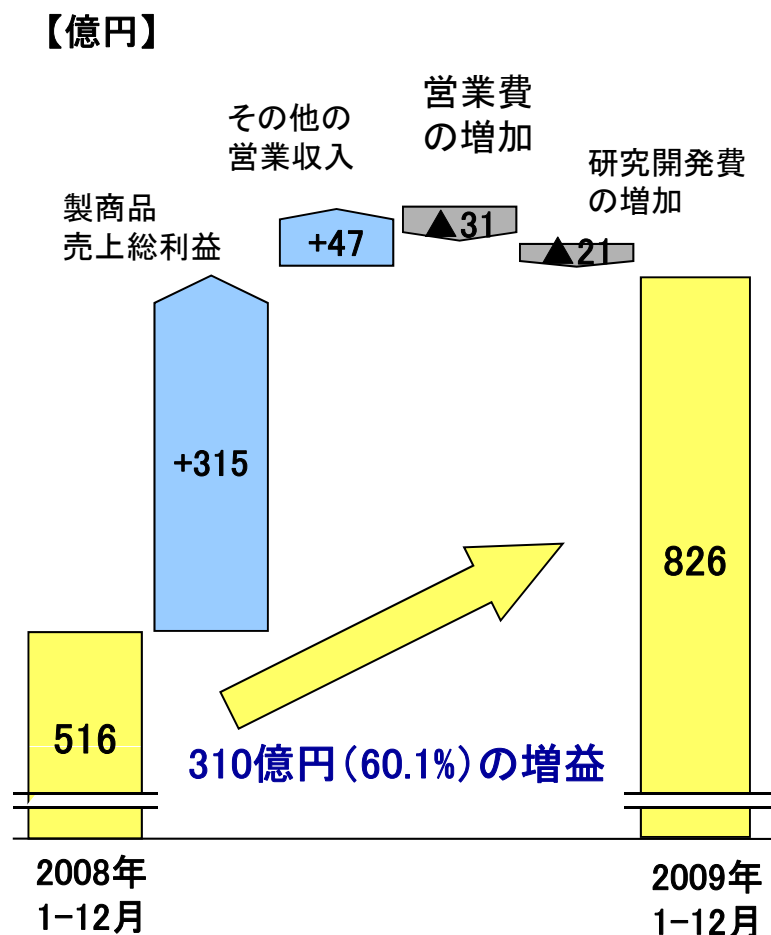
行 政 備 蓄 等	2005/2006		2	65										67	
	2006/2007				179	189								368	
	2007/2008						96	2						98	
	2008/2009								11	144				155	
	2009/2010										256	113		368	
	2010/2011												70		
行政備蓄等		2 (+2)		244 (+242)		285 (+41)		13 (-272)		400 (+387)		182 (-218)			

合 計		232	120	163	216	238	148	16	68	254	508	168	220		
		352 (+266)		380 (+28)		387 (+7)		84 (-303)		762 (+678)		387 (-375)			

* 国立感染症研究所「感染症発生動向調査」10月下旬から4月中旬の合計患者数

黄色の網掛けは予想値

営業利益の増減内訳 1-12月実績



【億円】	2008年 1-12月	2009年 1-12月	増減	(%)
売上高	3,269	4,289	+1,020	+31.2
売上原価	1,270	1,929	+659	+51.9
売上総利益	1,999	2,361	+362	+18.1
うち 製商品	1,948	2,263	+315	+16.2
うち その他の営業収入	51	98	+47	+92.2
営業費	951	982	+31	+3.3
研究開発費	532	553	+21	+3.9
営業利益	516	826	+310	+60.1

- 製商品売上総利益の増加 +315億円
タミフル、国内がん製品、
アクテムラ(国内・海外)等の伸長
- 営業費の増加 ▲31億円
人件費(退職給付費用等)の増加
新製品等(アクテムラ、アバスチン等)の市場浸透
- 研究開発費の増加 ▲21億円
人件費、減価償却費(製薬研究設備)の増加
早期開発段階テーマに関する費用の増加

損益の概要 10-12月(第4四半期)実績

【億円】	2008年 10-12月	売上 (%)	2009年 10-12月	売上 (%)	増減	%
売上高	973		1,192		+219	+22.5
製商品売上高	970		1,157		+187	+19.3
タミフルを除く	903		953		+50	+5.5
タミフル	67		204		+137	+204.5
その他の営業収入	3		36		+33	(x 12.0)
売上原価	394		495		+101	+25.6
売上総利益	578	59.4	697	58.5	+119	+20.6
営業費	292		283		▲9	▲3.1
研究開発費	169		175		+6	+3.6
営業利益	117	12.0	238	20.0	+121	+103.4
経常利益	146	15.0	244	20.5	+98	+67.1
当期(四半期)純利益	91	9.4	157	13.2	+66	+72.5

- 製商品売上高(タミフルを除く) +50億円
 - アバステン +33億円
 - アクテムラ(海外) +16億円
 - アクテムラ(国内) +11億円
 - ゼローダ +7億円
 - カイトリル ▲7億円
- タミフル* +137億円
- その他の営業収入 +33億円
 - マイルストーン収入
 - コプロモーション収入
- 営業利益 +121億円

* タミフル 内訳

	2008年10-12月	2009年10-12月	増減
通常	56億円	177億円	+121億円
行政備蓄等	11億円	27億円	+16億円

損益の概要 1-12月実績

【億円】	10月7日 修正予想		実績		差異	
	2009年 1-12月	売上 (%)	2009年 1-12月	売上 (%)		達成率 (%)
売上高	4,200		4,289		+89	102.1
製商品売上高	4,100	97.6	4,191	97.7	+91	102.2
タミフルを除く	3,452	82.2	3,429	79.9	▲23	99.3
タミフル	649	15.5	762	17.8	+113	117.4
その他の営業収入	100	2.4	98	2.3	▲2	98.0
売上原価	—		1,929		—	—
売上総利益	—		2,361	55.0	—	—
営業費	—		982		—	—
研究開発費	—		553		—	—
営業利益	670	16.0	826	19.3	+156	123.3
経常利益	740	17.6	904	21.1	+164	122.2
当期純利益	460	11.0	566	13.2	+106	123.0

●製商品売上高(タミフルを除く)
▲23億円

ノイトロジン(海外)	+19億円
アクテムラ(海外)	+18億円
アバスチン	+13億円
ノイトロジン(国内)	▲7億円
カイトリル	▲7億円
コペガス	▲7億円
エポジン	▲8億円
アクテムラ(国内)	▲12億円
ペガシス	▲12億円

●タミフル +113億円

●営業利益 +156億円

為替変動の影響について

	想定レート対比
売上高	+10億円
	ノイトロジン(海外) +8億円 アクテムラ(海外) +2億円
原価・販管費	ロシュ品原価 ▲47億円 欧州販社販管費 ▲3億円
営業利益	▲40億円
営業外収支	為替差損益・為替予約 +63億円
経常利益	+23億円

金額は通期利益影響、いずれも概算

● 想定レート

CHF: 85.00円 EUR: 125.00円

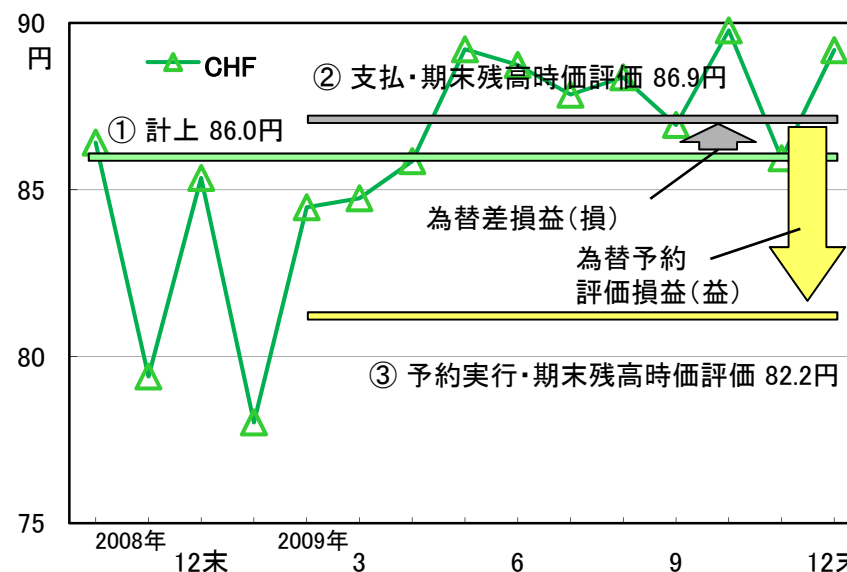
● ロシュ品原価 為替影響

▲47億円

仕入価格改定

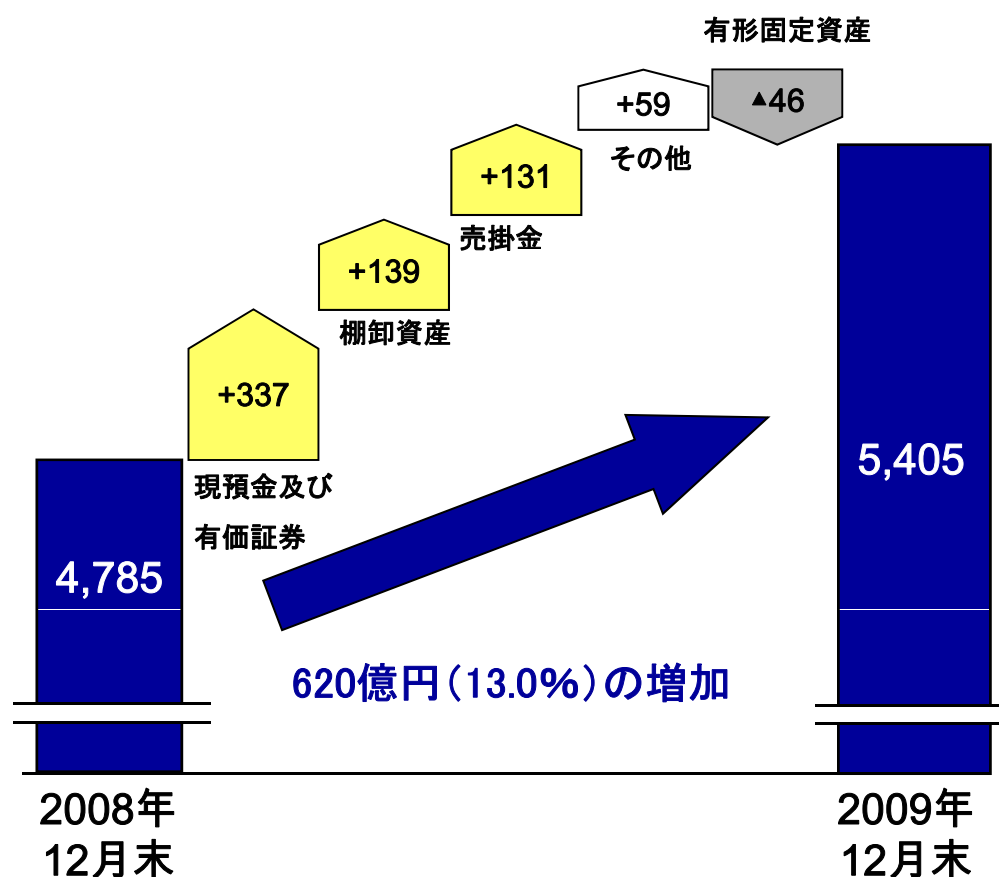
想定・計上レート差異

● (ご参考) 営業外収支 為替影響



貸借対照表/資産の部

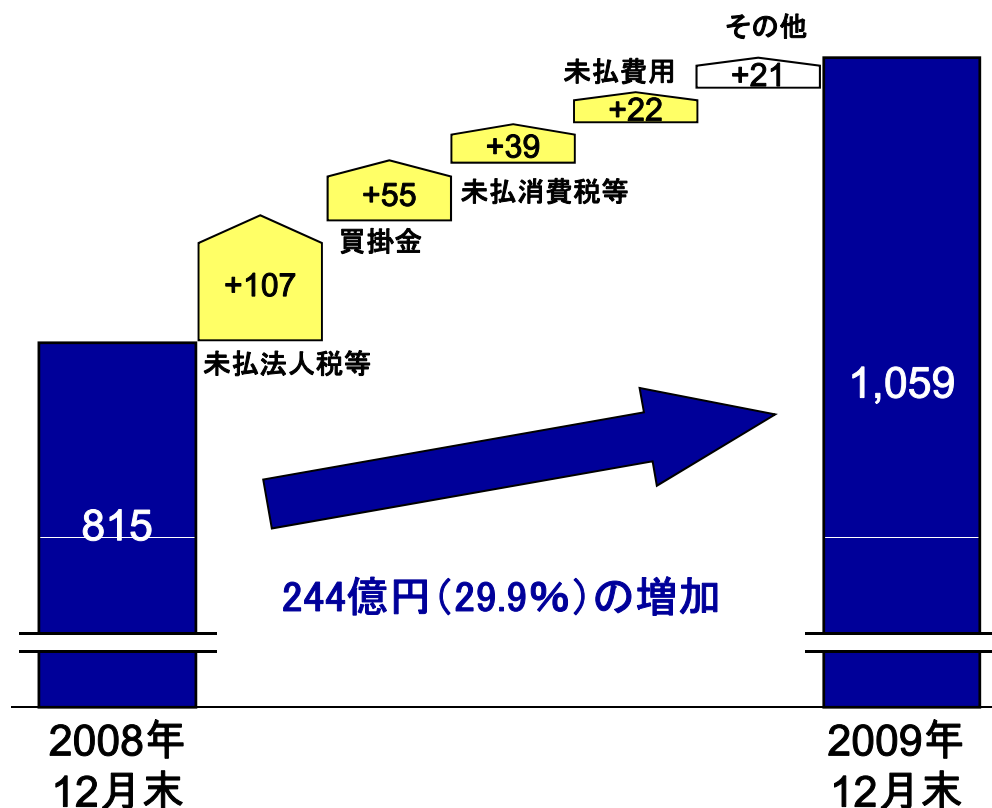
【億円】



- 現金及び預金 +362億円
- 有価証券 ▲25億円
- 棚卸資産 +139億円
新製品・適応拡大需要の増加
サイトチェンジのための備蓄
- 売掛金 +131億円
売上の増加
- その他 +59億円
ロシュからの未収入金増加

貸借対照表/負債の部

【億円】



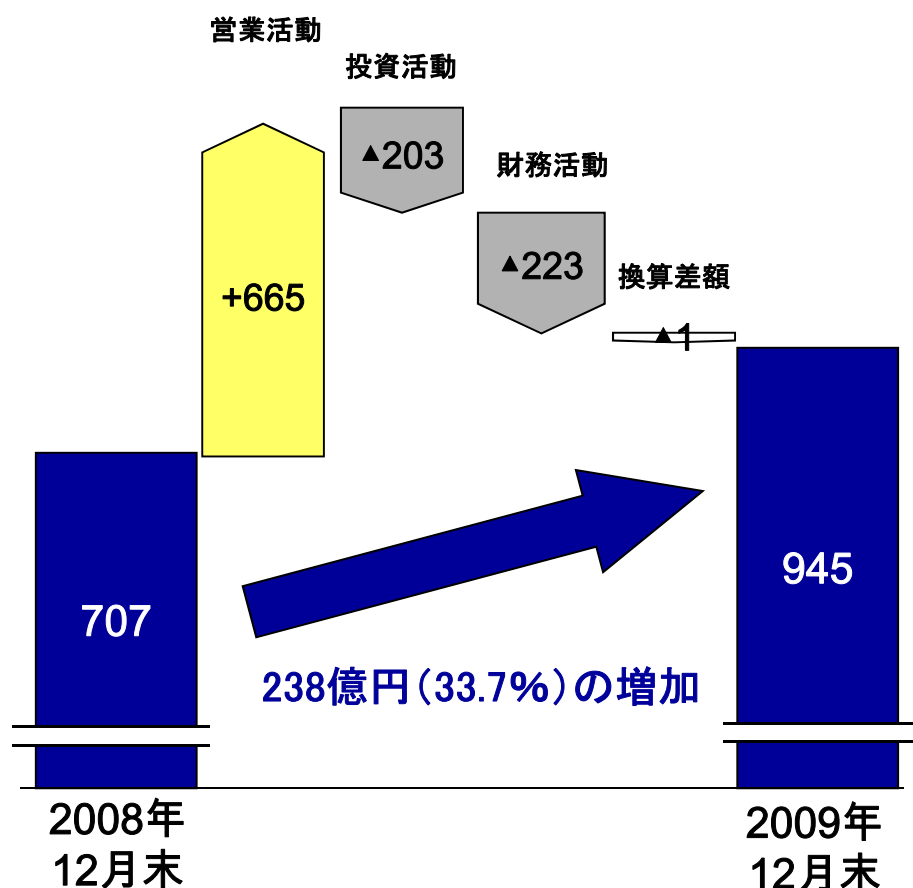
- 未払法人税等 +107億円
- 買掛金 +55億円
タミフルの仕入増加
- 未払消費税等 +39億円
売上の増加

自己資本比率

2008年12月末	2009年12月末	増減
82.6%	80.0%	▲2.6%pts

キャッシュ・フロー 1-12月実績

【億円】



●営業活動に伴うキャッシュ・フロー	+665億円
税前純利益	+894億円
減価償却費等	+195億円
運転資本の増加	▲211億円
売掛債権の増加	▲130億円
たな卸資産の増加	▲135億円
仕入債務の増加	+53億円
法人税等の支払	▲241億円
●投資活動に伴うキャッシュ・フロー	▲203億円
定期預金の預入れによる減少	▲122億円
有価証券・投資有価証券の減少	+76億円
固定資産の取得	▲161億円
●財務活動に伴うキャッシュ・フロー	▲223億円
配当金の支払	▲196億円

損益の概要 2010年1-12月予想

【億円】	実績		予想		差異	
	2009年 1-12月	売上 (%)	2010年 1-12月	売上 (%)		(%)
売上高	4,289		4,185		▲ 104	▲ 2.4
製商品売上高	4,191		4,140		▲ 51	▲ 1.2
タミフルを除く	3,429		3,753		+324	+9.4
タミフル	762		387		▲ 375	▲ 49.2
その他の営業収入	98		45		▲ 53	▲ 54.1
売上原価	1,929	45.0	1,845	44.1	▲ 84	▲ 4.4
売上総利益	2,361	55.0	2,340	55.9	▲ 21	▲ 0.9
営業費	982	22.9	1,050	25.1	+68	+6.9
研究開発費	553	12.9	590	14.1	+37	+6.7
営業利益	826	19.3	700	16.7	▲ 126	▲ 15.3
経常利益	904	21.1	705	16.8	▲ 199	▲ 22.0
当期純利益	566	13.2	440	10.5	▲ 126	▲ 22.3
(EPS※)	103.98円		80.85円		▲ 23.13円	

為替レート 2009年 2010年
(円) 1-12月 1-12月
(想定)

CHF 86.20 88.00
EUR 130.10 130.00

為替変動の営業利益への影響度
想定より1円円高の場合(概算)

CHF +7億円
EUR ▲1億円

※ 2009年のEPSは潜在株式調整後の値

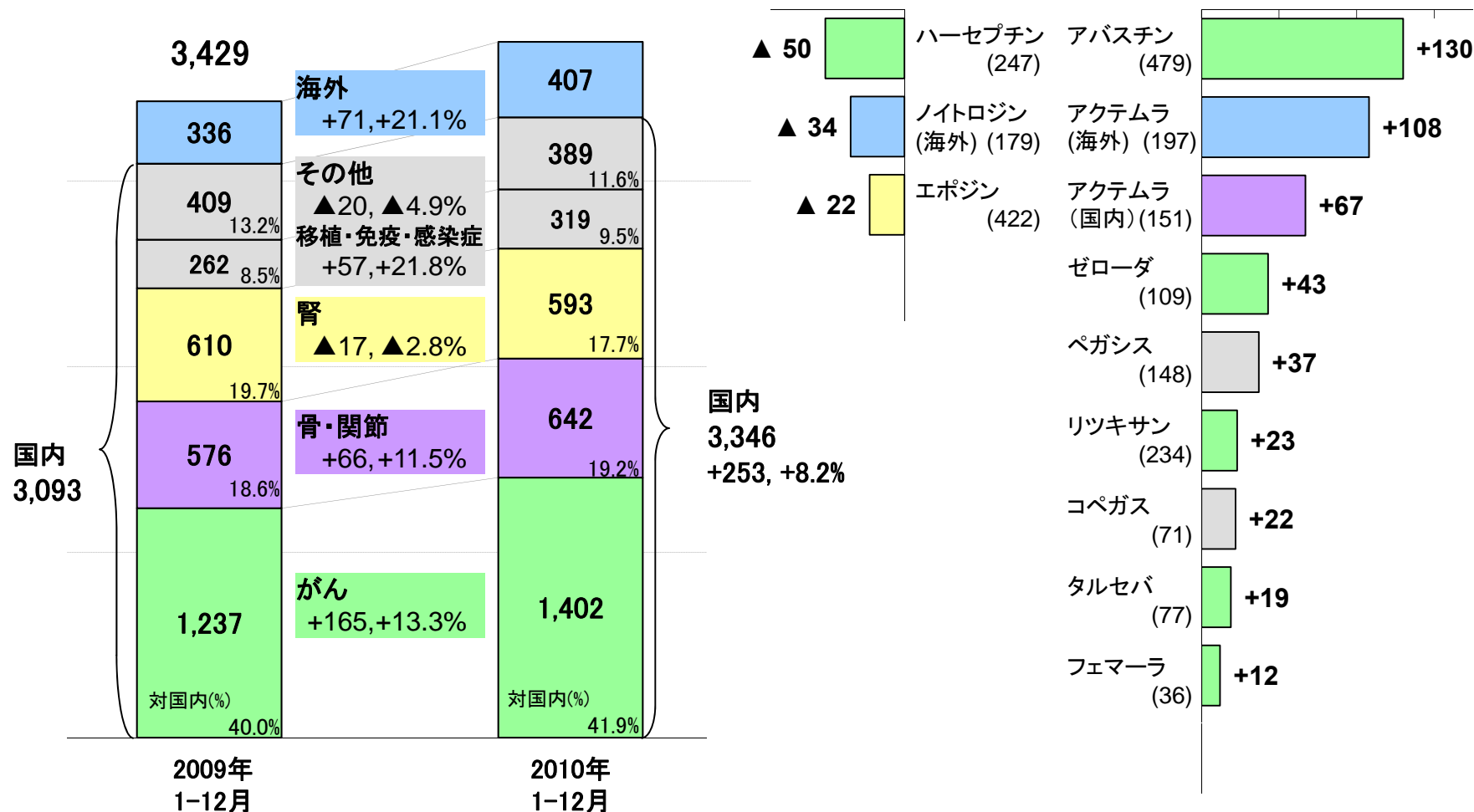
製商品売上高(タミフルを除く)の増減内訳 2010年1-12月予想

【億円】

製商品売上高(タミフルを除く)
3,753億円 +324, +9.4%

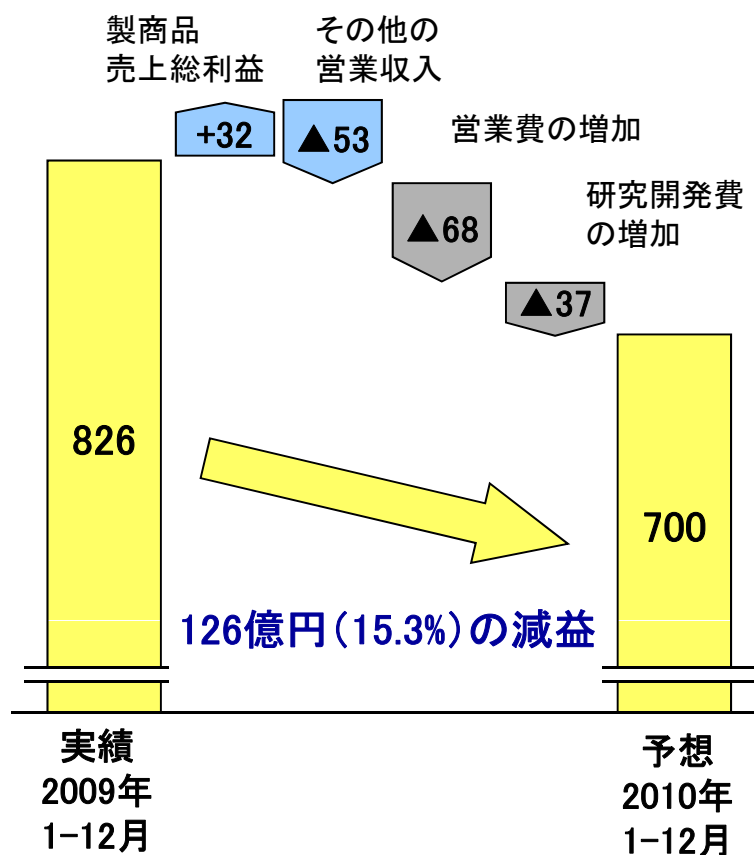
左図: 領域別

右図: 個別製品(前年同期比、()内は2010年予想)



営業利益の増減内訳 2010年1-12月予想

【億円】



【億円】	実績 2009年 1-12月	予想 2010年 1-12月	増減	(%)
売上高	4,289	4,185	▲104	▲2.4
売上原価	1,929	1,845	▲84	▲4.4
売上総利益	2,361	2,340	▲21	▲0.9
うち 製商品	2,263	2,295	+32	+1.4
うち その他の営業収入	98	45	▲53	▲54.1
営業費	982	1,050	+68	+6.9
研究開発費	553	590	+37	+6.7
営業利益	826	700	▲126	▲15.3

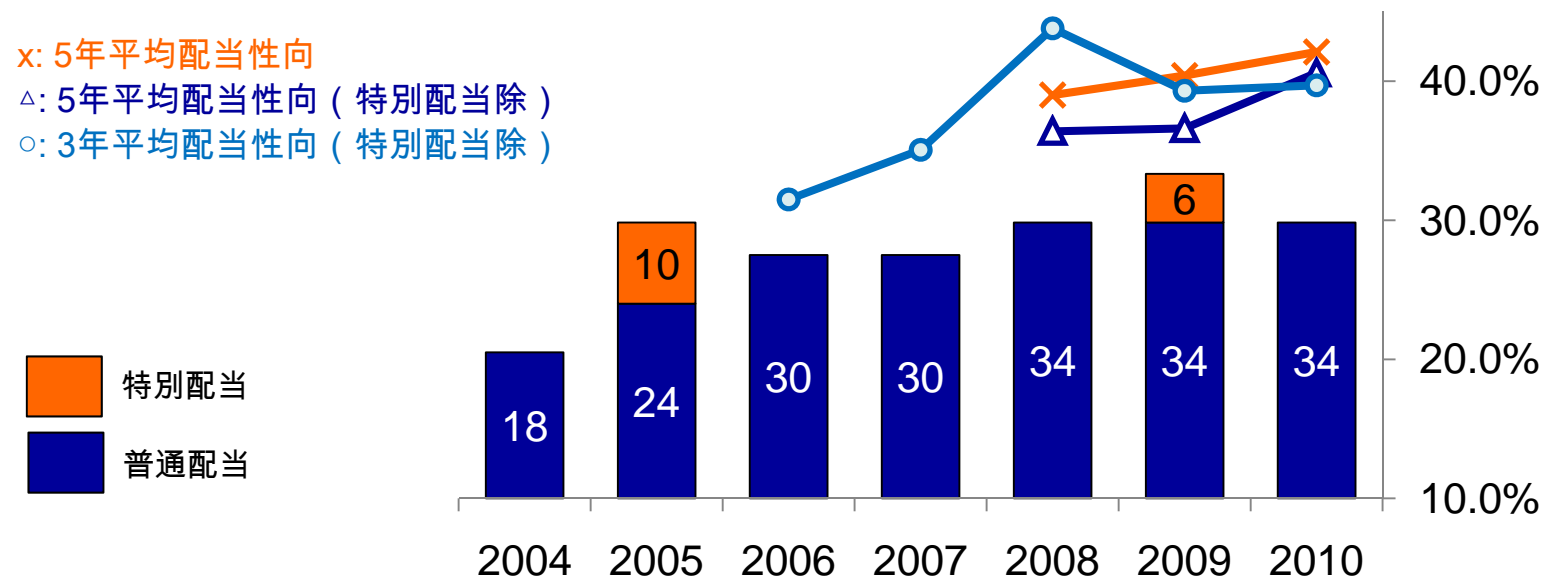
- 製商品売上総利益の増加 +32億円
特殊要因(タミフル、薬価改定)による減少
売上数量増等による増加
- 営業費および研究開発費の増加 ▲105億円
新製品等の市場浸透
アクテムラ・コプロモーション活動
早期段階開発テーマに関する費用の増加

利益配分の方針及び当期・次期の配当

■ 方針

安定的な配当を基本とし、戦略的な資金需要や業績見通しを勘案した上で、平均して40%前後の連結配当性向を目標とする

- 2009年12月期の年間配当(予定) 40円: 17円+17円+6円(特別配当)
- 2010年12月期の年間配当(予想) 34円: 17円+17円



研究開発の状況

中外製薬株式会社
常務執行役員
ポートフォリオマネジメント部長
田中 裕

2010. 2.3/4

開発パイプライン（2010年2月現在）

	Phase I	Phase II	Phase III	Filed
がん	CIF/RG7167 - 固形がん CKI27/RG7304 - 固形がん GC33 - 肝がん RG7159/GA101 - 非ホジキンリンパ腫 RG3502 (T-DM1) - 乳がん	MRA/Actemra - 膵がん TP300 - 胃がん等 RG435/Avastin - グリオブラストーマ (再発例)	RG340/Xeloda - 胃がん RG435/Avastin - 結腸がん (アジュバント) - 胃がん - 乳がん (アジュバント) - グリオブラストーマ RG597/Herceptin - 胃がん RG1273/pertuzumab - 乳がん	EPOCH/Epogin - CIA★ RG435/Avastin - 乳がん RG1415/Tarceva - 膵がん
骨・関節		MRA/Actemra - 関節リウマチ(sc) RG484/Bonviva(oral) - 骨粗鬆症	MRA/Actemra (海外) - sJIA RG1594/ocrelizumab - 関節リウマチ RG484/Bonviva(inj) - 骨粗鬆症	ED-71 - 骨粗鬆症
腎				RG744/Mircera - 腎性貧血
その他	NA808 - C型慢性肝炎 NTZ - C型慢性肝炎 RG1450 - アルツハイマー病	CSG452/RG7201 - 糖尿病 RG1583/taspoglutide - 糖尿病 RG1678/(GLYT1) - 統合失調症	RG442/Pegasys - B型慢性肝炎 RG442+RG964/Pegasys + Copegus - 肝硬変	EPOCH/Epogin - 自己血貯血
				オレンジ: 自社品 ★: 10/27からの変更点

開発の状況ーがん領域（1）

自社品

エポジン

がん化学療法に伴う貧血 09年11月申請

自社品

CIF（RG7167, MEK阻害剤）

固形がん 09年11月 国内P1試験開始

自社品

CKI27（RG7304）

固形がん 10年1月 国内P1試験開始

開発の状況ーがん領域（2）

導入品

アバスチン

非小細胞肺がん 09年11月承認

標準化学療法と併用

導入品

RG1507（抗IGF-1R モノクローナル抗体）
固形がん 開発中止

ロシュが実施した肺がんとザルコーマ対象の海外のP2試験において、安全性・忍容性には問題がなかったものの、当初設定していた有効性基準に達しなかったため開発を中止

開発の状況一骨・関節、その他の領域

自社品

ACTEMRA（米国）

関節リウマチ 10年1月8日承認

- PDUFA DATE 当日に承認取得
- 1剤以上のTNF阻害剤の効果が不十分な中等度から重症の成人の関節リウマチ
（より早い段階から使用できるようFDAと協議中）
- 単剤もしくはMTXまたはDMARDsとの併用
- 推奨開始用量は4mg/kg、臨床効果により8mg/kgまで増量
- 1月18日の週に発売開始

導入品

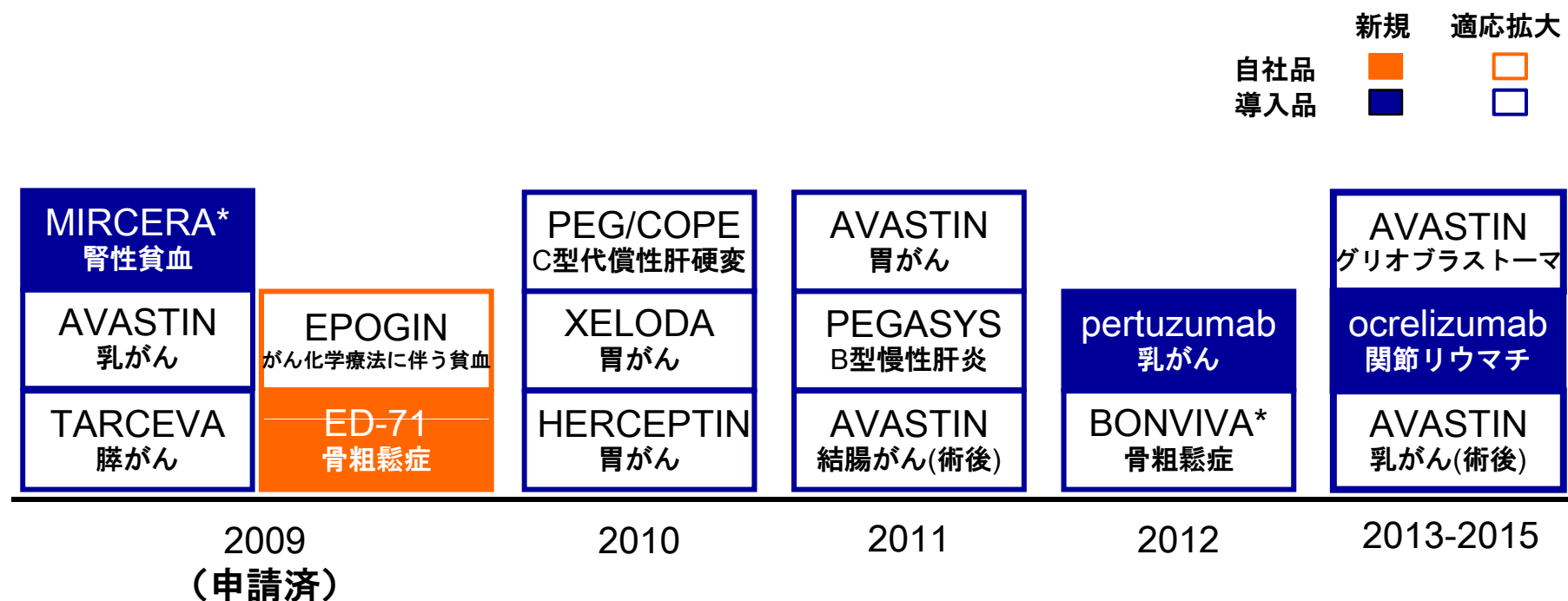
タミフル

小児予防適応 09年12月承認

13歳未満の幼小児においてもタミフルの予防投与が可能に

今後の申請予定

■ 2010年は4製品（2プロジェクト）の適応拡大申請予定



*海外製品名

お問い合わせ先：広報IR部

報道関係者の皆様：広報グループ

Tel : 03-3273-0881

e-mail : pr@chugai-pharm.co.jp

担当：山田、広瀬、荒木、前田

投資家の皆様：IRグループ

Tel : 03-3273-0554

e-mail : ir@chugai-pharm.co.jp

担当：内田、清水、時田、喜多村